

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY  
名古屋  
ちくさ  
題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 名古屋東急ホテル  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 大谷 恩  
幹事 松岡 多加倫  
公営イメージ委員 渡邊 源市

No. 22

ロータリーは機会の扉を開く  
Rotary Opens Opportunities

2020～2021年度

RI会長  
ホルガー・クナーク

## 今日の例会

第1804回 2021年(令和3年)3月2日(火)

優良従業員表彰

12:30 松楓閣

## 先回の例会

第1803回 2021年(令和3年)2月16日(火)

休会 定款第7条第1節(d)(3)

## 2月16日の理事役員会報告

第8回 理事役員会 議事録 2月16日

### 【承認報告事項】

#### 1) ローターアクト委員会／

##### 名古屋名城ローターアクトクラブ会員増強について

現在の会員数10名→今年度・次年度にかけて倍増を目標 合同RA委員会より、まず会員のご家族、社員を含めた身内に絞って情報を集める提案がでています。提唱8RCにおいて、ローターアクトクラブ会員増強の一助となるべく、各RC内においてローターアクトメンバーに推挙できる各メンバーの会社の後継者、役員候補者を提出して頂き、次代のロータリーファミリーに繋がる人材の発掘に繋がるようご協力を頂きたいとのことです。

3月9日の第3回合同ローターアクト委員会までにクラブより候補者リストの提出 承認

\*会員へ協力依頼送付 3月2日までにクラブで取り纏め合同委員会へ提出

#### 2) 桜花学園インターアクトクラブ3年生より卒業報告

3月9日の例会に、顧問 河合保昌先生、3年生(卒業) 上田紗瑚さん、奥迫あおいさんの3名が出席

#### 3) 3月30日(火)例会にて優良職員表彰／

警察より1係、消防より1名の表彰

・愛知県千種警察署 生活安全課 生活安全第一係 (構成員3名)

・名古屋市千種警察署 総務課 庶務係 消防司令 安藤 徹 様

#### 4) 2021学年度の米山奨学生については、当クラブ受け入れなし

#### 5) 3月14日の地区大会について

顕彰昼食会と大懇親会の開催中止が発表されました。当日は本会議のみの開催となります。詳細については、プログラムが届き次第ご案内いたします。

6)名古屋東急ホテル当クラブ営業担当 内藤万紀夫氏の異動により担当者変更  
新しい営業担当: 植田 博之氏

\*例会取り止めのため中止となりました2月9日のプログラム 米山記念奨学生 邱紫雁さんの卓話について、以下ご紹介いたします。

## 卓話

中国の茶文化について

米山奨学生 邱紫雁さん



「茶之為飲、発乎神農氏」陸羽の『茶経』にそうのべている。紀元前2700年頃の事、中国古伝説中の帝王であった炎帝神農は医術の神と言われ、人々に火の使い方や、食べ物の採り方などを教えた。ある日この神農が釜で水を沸かしていたところ、数枚の木の葉が釜に入り、これを一緒に煮出すと香り良く、水色も美しく、さらに飲むと味も良いので、人々にこれを教えた。実は、これが茶の葉であったとされている。茶樹の起源に関しては近年科学的な研究の進歩から、大体その起源となった土地は割り出されている。以前は茶樹の起源に関してはアッサム起源説が有力だった時期もあるようだが、現在ではほぼ中国をその発祥の地とすることにほぼ異論はないようである。そういった中で橋本実氏はおおよそ茶樹の起源の中心地を雲南・四川に特定している。

三国以前茶文化は啓蒙する。茶は物質形式として他の人文科学にしみ込んで、それで茶文化を形成することが出現していた。780年陸羽が『茶経』を著したことは、唐代の茶文化形成のシンボルである。唐代の茶文化の成形成は禅の勃興と関連している。寺院は飲茶を提唱、寺周囲に茶の木を植え、茶の礼を制定して、茶の堂を設けて、茶の端を選んで、専ら茶の活動を行う。

中国は茶の木の原産地であるが、しかし、中国のこの面における人類に対する貢献は、主に最も早くお茶という植物を発見し、それを利用し、それを中国、アジア及び全世界で輝く独特な茶の文化に発展させたことにある。

中国は茶の呼称、お茶についての知識、茶の木の栽培、加工技術を世界に伝えたのであり、世界各国の茶は、直接あるいは間接に、中国の茶とつながりがある。茶道は、中国で生まれ日本で花開き実を結んだ、優れた生活文化である。茶道の語が文献に初めて現れるのは唐代であるが、すでに唐代に於いて、茶道は単なる飲茶習俗の域から脱した高度な精神文化であった。陸羽の『茶経』がその事を輝かしく証明している。やがて茶道は日本に伝来し、日本の文化的伝統と結合して新たな展開をとげ、深遠な哲理と豊かな芸術表現とを併せ具えた総合的文化体系として大成された。

「上品なお茶があり、上品なお茶を飲むことが出来るのは一種の幸せであるが、こんな幸せを楽しむのはまず暇が必要で、次は鍛えられた特別の感覚である」これは魯迅の『喝茶（お茶を飲む）』という雑文の中の言葉である。茶道文化が持つもっとも重要な社会機能は、芸術の形式をもって人間感情の融和と心の豊さを図り、潤い人間関係を創るといふところにある。インターネットの急速な発展で、世界の状況は一瞬のうちに私たちの知るところになる。しかし便利さだけを追求しているような現代社会では、人間関係はむしろ希薄になってしまった。このような状況の中に、茶道の精神、茶道の心、茶道にある東方文化の価値を発見しているべきである。



#### ▶ 2021-22年度RI会長テーマが発表されました



人のために世話をし、奉仕することが最良の生き方。なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、自分の人生を豊かにできるのだから……。国際ロータリーの次期会長であるシェカール・メータ氏はこう述べ、奉仕プロジェクトへの参加を会員に呼びかけました。

カルカッタ-マハナガル・ロータリークラブ(インド、西ベンガル州)に所属するメータ氏は、ロータリー国際協議会中の2月1日、次期地区ガバナーに向けて2021-22年度の会長テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を発表しました。地区ガバナーエレクトを研修するための年次行事である国際協議会は当初、オランダ(米国フロリダ州)で開催予定でしたが、新型コロナウイルス流行のためバーチャル(オンライン)で開催されました。

ロータリーでの奉仕プロジェクトへの参加を通じて自身が人間として成長したことに触れたメータ氏は、その経験を通じてほかの人のニーズに目を向けるようになったと述べました。クラブ入会後まもなく、メータ氏はインドの僻村を支援するプロジェクトに参加しました。そこで村人たちの状況を目にしたことで、奉仕への決意が固まりました。「同胞たちが抱える苦境を真に理解しました」とメータ氏は語ります。

その後も、子どもへの義肢の寄贈、家庭への安全な水と衛生設備の提供、地域の医療施設の改善など、数々の取り組みに参加しました。

「ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを超えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました」とメータ氏。「奉仕が私の生き方となったのです。多くの方々と同じように、“奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である”という信条を持つようになりました」

メータ氏は、次期ガバナーに対し、次年度に自らが模範となって導き、測定可能・持続可能なインパクトをもたらす奉仕プロジェクトへの会員の参加意欲を引きだすよう呼びかけました。また、各クラブが「ロータリー奉仕デー」を実施することを求めました。



#### 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

MY ROTARY 内でテーマ講演動画も配信されており  
ますのでご覧ください

#### 今後の例会内容

3月は水と衛生月間です

世界ローターアクト週間(3月13日を含む1週間)

3月 9日(火) 12:30 名古屋東急ホテル3F 錦の間  
◎桜花学園インターアクトクラブ卒業報告

3月16日(火) 休会 定款第7条第1節(d)(1)

3月23日(火) 12:30 名古屋東急ホテル3F 錦の間  
◎友愛の日 米山奨学生 邱紫雁さん卒業

3月30日(火) 12:30 名古屋東急ホテル4F 雅の間  
◎優良職員表彰/愛知県千種警察署

名古屋千種消防署  
例会後 13:40~ 理事役員会 3F 梅の間

4月 7日(水) 12:30 名古屋東急ホテル3F 1111  
◎6RC合同例会 (転: 和合ロータリークラブ)

次回例会： 2021年(令和3年) 3月 9日(火) 12:30 名古屋東急ホテル3階 錦の間  
桜花学園インターアクトクラブ卒業報告